

介護現場における ICT・AI 活用勉強会を開催します！

～負担軽減から自立支援まで テクノロジーがひらく介護と暮らしの未来～

川崎市が東京科学大学・産業技術総合研究所と運営する福祉製品等の開発支援施設「Kawasaki Welfare Technology Lab」（ウェルテック）と、川崎市総合リハビリテーション推進センターの連携事業として、施設職員やケアマネジャー、管理者の方、ICT・AI等のテクノロジーを開発・製造している企業の方等を対象に、介護現場におけるICT・AIの活用に関する勉強会を開催いたします。

本勉強会は、“課題と技術が出会う共創の場”として、テクノロジーの導入事例、製品化前のAIツールの実証的活用例などについて紹介し、川崎市総合リハビリテーション推進センターの理学療法士等の専門職も交え、企業と参加者、あるいは参加者同士の意見交換を通して、今後の介護現場における技術活用について検討するとともに、現場の課題解決や介護の質の向上、ニーズを起点としたイノベーションの芽を育て、企業・自治体・現場関係者の連携を促進することを目的としています。

1 開催日時 令和7年8月28日（木） 14:00～17:00（受付開始 13:30～）

2 会場 Kawasaki-NEDO Innovation Center（通称K-NIC）
川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー5階

3 主催 川崎市・東京科学大学・産業技術総合研究所

4 主な内容（予定）

<講演>

- 東京科学大学 教授 ^{にしだ よしふみ} 西田 佳史 氏
「現場でのテクノロジーの利活用を促進するための仕組みづくり」
- インフィック株式会社 執行役員 ^{はなしま かずまさ} 花島 一誠 氏
「シンプルに考える介護 × DX ～DXの入口はIT活用ではない～」

<ポスターセッション>

- インフィック株式会社 執行役員 ^{はなしま かずまさ} 花島 一誠 氏
- 株式会社 emotivE 「安心日記」
- ViZO 株式会社 「ケアパートナーAI」
- 株式会社シーディーアイ 「SOIN（ソワン）」
- Kawasaki Welfare Technology Lab（ウェルテック）



（昨年の勉強会の様子）

5 参加申込 8月7日（木）までに専用フォームから申込
定員50名 申し込み多数の場合は先着順となります。
<https://logoform.jp/f/wOcMO>

参加申込は
こちら



問合せ先

川崎市経済労働局イノベーション推進部 末繁（すえしげ）
電話：044-200-2339

介護現場におけるICT・AI活用勉強会

～負担軽減から自立支援まで テクノロジーがひらく介護と暮らしの未来～

介護現場が抱える深刻な人材不足や介助者の負担増、在宅における自立支援や介護予防といった社会課題に対し、「課題と技術が会う共創の場」として、現場と技術の知見を結び付け、課題解決のヒントや新たな連携の可能性を探るとともに、川崎市総合リハビリテーション推進センターと連携し、多様な視点からの製品開発、活用につなぐことを目的とした勉強会を開催します。

こんな方におすすめ

- ▶ ICT・AIの活用を検討している
施設職員やケアマネジャー、管理者等の方
- ▶ 介護現場を支えるICT・AI等のテクノロジーを
開発・製造している企業の方
- ▶ 関連業種とのつながりの中で意見・情報交換をしたい方

日時 令和7年8月28日（木） 14:00～17:00
(受付開始 13:30～)

会場 Kawasaki NEDO innovation Center（通称K-NIC）
川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー5階

費用 無料

申込 右記二次元コードから申込 8月7日（木）迄

主催 川崎市・東京科学大学・産業技術総合研究所

地図はこちら



申込はこちら



<問い合わせ先>

ウェルテック

TEL 044-223-6468

Email info@kawasaki-weltech.com

川崎市経済労働局イノベーション推進部

TEL 044-200-3226

Email 28innova@city.kawasaki.jp

川崎市では、東京科学大学、産業技術総合研究所と連携して運営する「ウェルテック」を拠点として、市内企業等の福祉製品等の開発を支援しています。総合リハビリテーション推進センターも入居する川崎市複合福祉センター「ふくふく」内に立地する特徴を活かして、福祉現場のニーズを収集や「模擬環境ラボ」を活用し、福祉製品の性能・安全性を科学的に評価するなど、開発・改良に向けた伴走支援を実施しています。

詳細はこちら



- 講演 -

▶ 第1部 14:05～

インフィック株式会社 執行役員 花島 一誠 氏

「シンプルに考える介護 × DX

～DXの入口はIT活用ではない～」



▶ 第2部 16:10～

東京科学大学 教授 西田 佳史 氏

「現場でのテクノロジーの利活用を

促進するための仕組みづくり」



- ポスターセッション - 14:30～

インフィック株式会社 花島 氏・ウェルテックを含めた
5つのブースでポスターセッションを行います。

株式会社emotive「安心日記」

AIと喋ることでフレイル予防を目指すスマホアプリです。
特に一人暮らしやプレフレイル・フレイル層の方々が興味
を持ち、外出を促す目的志向の対話を行い、他者との接点
を増やすことで健康を維持します。



viZO株式会社 「ケアパートナーAI」

声かけや感情への応答を通じて、高齢者に寄り添う“ケア
パートナーAI”。現場の声から生まれた、福祉支援の新しい
かたちです。

株式会社シーディーアイ 「SOIN（ソワン）」

SOINは、将来の状態予測やケアプランの自動作成機能を備
え、ケアマネジメント業務全体を幅広く支援するAIケアマ
ネジメント支援システムです。業務の効率化を実現すると
同時に、ケアの質の向上にも貢献します。



※ポスターセッションとは

発表者が現在取り組んでいるテーマを1枚のポスターにまとめて発表することです。

発表者と参加者の距離が近く、一つのテーマに関連するアイデアや意見を交換できます。